

事 務 連 絡
令和 3 年 11 月 1 日

各都道府県教育委員会指導事務担当課
各指定都市教育委員会指導事務担当課
各都道府県私立学校主管課 御中
附属学校を置く各国公立大学法人担当課
構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課

文部科学省総合教育政策局国際教育課

通訳・翻訳プログラムを利用した国際共同授業の御案内（周知）

平素より高校生の国際交流の推進に御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、ソウル特別市教育庁から別添のとおり「通訳・翻訳プログラムを利用した国際共同授業」に関する提案が大韓民国日本国大使館を通してありましたので周知します。

本事業の概要、実施期間及び対象児童・生徒等は、下記のとおりです。

ついては、本事業につきまして、各都道府県教育委員会におかれては所管の学校及び域内の指定都市を除く市区町村教育委員会に対して、各指定都市教育委員会におかれては所管の学校に対して、各都道府県私立学校主管課におかれては所轄の学校法人を通じてその設置する学校に対して、各国公立大学法人におかれてはその設置する附属学校に対して、学校設置会社を所轄する構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた各地方公共団体におかれては所轄の学校法人等に対して、周知くださいますようお願いいたします。

なお、本事務連絡は、高等学校所管課宛てに送付をしておりますので、義務教育諸学校を担当していない場合、恐れ入りますが義務教育諸学校所管課まで御転送くださいますようお願いいたします。

参加の御希望がある場合は、下記申込期限までに、「参加申込書」に必要事項を記載の上、下記「4. 参加申込方法」に記載の提出先メールアドレス宛てに送付ください（希望する学校から直接お申し込みいただいても問題ありません）。

記

1 本事業の概要

小・中・高等学校の児童生徒を対象とし、ZOOM などのウェブ会議システムを利用して交流授業を行う。正規の授業時間又は部活動との連携等による放課後の時間の交流を想定。使用言語については、通訳・翻訳プログラムを介するため、それぞれの母国語での交流となる。

2 本事業の実施期間

令和4（2022）年4月～令和5（2023）年2月（両国の春夏冬休み期間は除く）

3 本事業の対象児童・生徒

小・中・高等学校の児童・生徒（ただし、小学校は3年生以上が対象）

4 参加申込方法・申込期限

「2022 通訳・翻訳プログラムを利用した国際共同授業参加申込書【書式】」に必要事項を記載の上、ソウル特別市教育庁・国際交流協力担当キム・ギョンソン氏宛て（両方のアドレス）<intaffairs@sen.go.kr>,<sunshower884@gmail.com>にメールにて下記申込期限までに送付すること（送付の際は、文部科学省総合教育政策局国際教育課メールアドレス<kouryu@mext.go.jp>を Cc に入れること）。

なお、参加の可否については、令和4年2月～3月までにソウル特別市教育庁から個別に連絡予定。

<申込期限>

第1回申込期限：令和3年12月27日（月）

第2回申込期限：令和4年2月28日（月）

5 その他（本事業に関する質問について）

本事業に関して質問がある場合は、文部科学省総合教育政策局国際教育課<kouryu@mext.go.jp>までメールにて問い合わせること（学校から直接でも可）。回答に当たっては、在大韓民国日本国大使館を通じてソウル特別市教育庁に確認をすることから、一定程度の時間がかかることが見込まれる。

なお、具体的なテーマ、実施日や授業形式などの実施方法等の詳細については、両国の学校同士が協議し決めることになるため、その点御留意いただきたい。

（添付資料）

- ・【別添】2022 通訳・翻訳プログラムを利用した国際共同授業の提案書
- ・2022 通訳・翻訳プログラムを利用した国際共同授業参加申込書【書式】

<本事務連絡に関するお問合せ先>

文部科学省総合教育政策局国際教育課国際理解教育係

電話：03-5253-4111（内線 3487）

E-mail：kouryu@mext.go.jp

通訳・翻訳プログラムを利用した
国際共同授業の提案書

2021. 10.

ソウル特別市教育庁
【参与協力担当官】

1 事業の概要

推進の背景

- 新型コロナウイルス感染症により、オンライン教育の活性化は普遍的国際交流を可能に。
- ソウル市教育庁は2020年からOLE(Online Language Exchange)* プログラムを活用して、8ヶ国・約50校と国際共同授業を進めている。

* OLE(Online Language Exchange): 相手国の言葉でしゃべり、外国語を使う機会を増やし、文化多様性に対する理解度を向上させるプログラム

※ 広報映像リンク: https://youtu.be/2H3F_47ICXA(韓国語)、<https://youtu.be/h7eg6yfAG6I>(英語)

- OLEプログラムは韓国語を学ぶ外国の生徒のみ対象にするため、通訳・翻訳プログラムを利用した国際共同授業*を通して言葉の壁を乗り越え、真なる普遍的国際共同授業を実現を目指す。

* 通訳・翻訳プログラムを活用した国際共同授業: ウェブ会議プラットフォーム(ZoomとMS Teams)に、リアルタイムで通訳・翻訳された音声と字幕を提供する機能を利用した国際共同授業

目的

- 多重言語と文化多様性に対する理解度向上及び世界市民性を涵養
- 国際共同授業を通じて外国語の使用機会を増やしコミュニケーション能力を涵養
- 海外の友達と知り合うことで未来協力基盤を造成

推進の方向

- 国際共同授業のための海外協力学校の拡大
- 便利性の高い通訳・翻訳プログラム開発
- 教師の国際共同授業の力量アップのための研修及びサポート

2 ソウル市教育庁の紹介

ソウル特別市教育庁の概要

- **(役割)** ソウル特別市教育庁は大韓民国の首都ソウルの幼稚園、小・中・高校、特別支援教育と学芸(生涯教育及び図書館運営)を担う機関
- **(組織)** 2020年基準で2,247校、児童・生徒数986,704人、教職員129,416人で構成
- **(ビジョン)** 創意的民主市民を育てる革新未来教育
- **(政策方向)**
 - 未来を準備する革新教育
 - 皆の可能性を開く責任教育
 - 平和と共存の民主市民教育
 - 参加とコミュニケーションの教育自治
 - 安全で快適な教育環境

3 通訳・翻訳プログラムを活用した国際共同授業ご案内

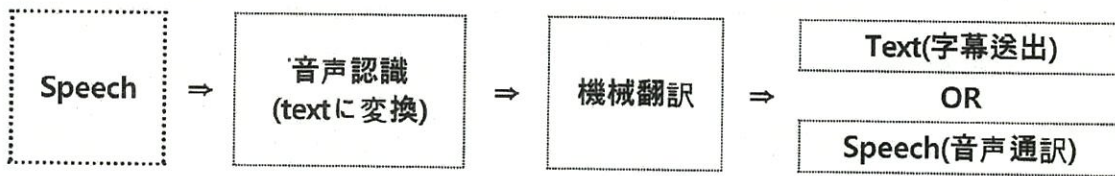
国際共同授業の概要

- **(授業期間)** 2022. 4. ~ 2023. 2.(両国の春夏冬休み期間は除く)
- **(授業の対象)** 小・中・高校の児童・生徒(但し、小学校は3年生以上)
- **(授業方法)** ウェブ会議プラットフォーム(**Zoom、Teams**)を活用
 - 授業時間: 正規授業時間を活用、或いは部活と連携して放課後に実施

- 授業のテーマ: 両国の生徒すべてが共通的に話し合えるテーマの中で両国の教師が自由に選定

※ 参加校にはテーマの選定に参考できる授業指導案(韓国語・英語)を配布

- (使用言語) 通訳・翻訳プログラムを活用し、母国語で授業可能
- (通訳・翻訳プログラム) パソコンとモバイルデバイス(アンドロイド用)いずれも使用可能



授業例

○ (授業の内容)

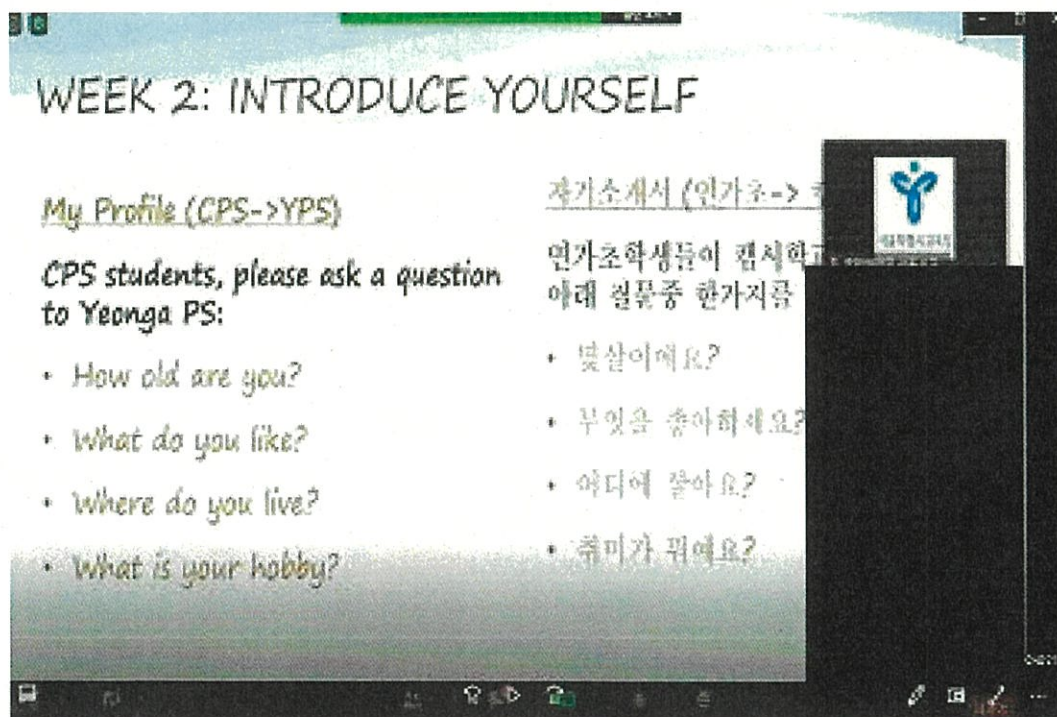
級別	回	授業の内容
小学	1	プラットフォームへのアクセス確認、簡単なご挨拶及び学校の紹介
	2	自己紹介(年齢、家族、趣味)
	3	好きな料理
	4	好きなスポーツ
	5	好きな音楽 (投票して1曲を決めて、絵を描いて、韓国語・英語の歌詞を付けて絵のミュージックビデオを作る)
	6	- 絵で作るミュージックビデオ発表会及びまとめ - 1:1 くじ引きでパートナーを決めて手紙(ペンパル)郵便交換
中学	1	プラットフォームへのアクセス確認、自己紹介(年齢、家族、趣味)
	2	各国の文化について話し合う
	3	自分の部屋、私たちの町について紹介する
	4	将来の夢

○ (進行順の例)

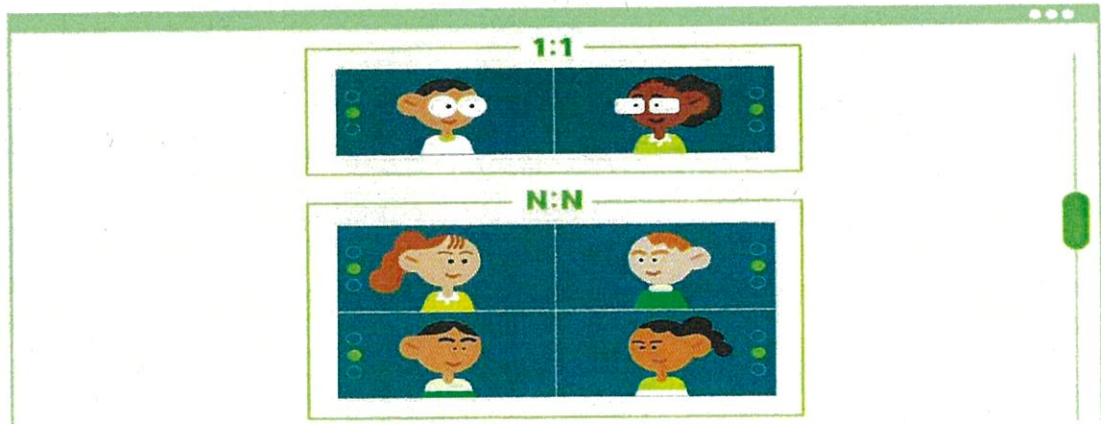
所要時間(分)	活動の内容	備考
00:00 ~ 00:10 (10分)	活動の紹介	教師
小会議室(全6人程度、学校当り約3人)に分ける		
00:10 ~ 00:40 (30分)	自己紹介 - 名前/年齢/地域 - 一番好きな趣味/料理 - その他、言いたいこと	自国の生徒
		相手国の生徒
すべての参加者はメイン会議室に戻る		
00:40 ~ 00:45 (5分)	まとめ	教師

○ (授業の様子)

- アクセス後、テーマを紹介: 両国の先生が母国語(英語)で、その日に勉強するテーマの紹介及び表現について説明



- 小会議室に入場し、両国の生徒たちは活動用紙の質問を基に会話
 - 両国の教師が各々の小会議室別の活動をチェック
 - ※ 希望する学校には遠隔授業ヘルパー(英語及び授業補助)支援可能



- グループ別の討論授業を勧奨
 - ・ 1:1 両国の生徒の言語レベルが高い場合
 - ・ N:N 各々の学校で2~5人ずつ、男女の比率や言語レベルなど考慮
- メイン会議室に復帰後、まとめ
 - 一人ずつ簡単に感想を発表、又は授業後に当該テーマに関してリアルタイム・ウェブ・アンケートを進める(両国の生徒たちの相互作用を図る)

4 推進日程詳細

- 2021. 10. ~ 2022. 2. 参加国募集
- 2021. 11. ~ 2022. 2. 韓国学校と海外学校の教師を1:1マッチング
- 2022. 3. 日韓の教師が授業のテーマや日程などについて協議
- 2022. 4. ~ 2023. 2. ウェブ会議プラットフォーム(**Zoom**、**Teams**)を利用して国際共同授業を実施(但し、春夏冬休み期間は除く)

2022「通訳・翻訳プログラムを利用した国際共同授業」参加申込書(例)		
1. 学校の情報	参加する学校名	
	国名	
	使用言語	
	学校の住所	
2. 担当教師の情報	担当教師のお名前	
	担当教師の連絡先	
	担当教師のE-mail	
3. 参加する生徒及び授業に関する情報	参加する生徒の学年(年齢)	高校1年(16~17歳)
	参加する生徒数	
	授業可能な曜日・時間	可能な日程をすべて記入
	授業の形	正規授業,或いは特別活動(部活)など
	授業希望回数	週1回、月1回など
	その他、ご要望	